令和４年２月１日発行（毎月１回１日発行）通巻第690号

林業福島

No. 690

題字　公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長　齋藤卓夫

2
2022

監　　修■福島県農林水産部
表紙の写真■いつか灰になる運命

共に歩む　福島ワンチーム

福島県市長会長
相馬市長　立　谷　秀　清

『林業福島』をご覧の皆さまには、県内各地域の林業振興と森林管理に多大なご尽力をいただいておりますことに、この場をお借りして御礼を申し上げます。

国内での初感染が確認されてから二年が経過する新型コロナウイルス感染症は、新規感染者数は一時減少したものの、オミクロン株の流行や新型コロナワクチンを二回接種済の方であっても感染する、いわゆるブレイクスルー感染も確認されているなど、感染が拡大しております。

現在、各自治体ごとにワクチンの三回目接種が開始、または早期の開始に向けた取り組みが行われています。ワクチンには感染の重症化を低減させることができる、あるいは感染する確率そのものを低減させることができるという効果が期待されておりますので、自治体の使命として可及的速やかに住民の方々に接種すべきであると考えております。

また、オミクロン株の特性として、軽症者が極めて速いスピードで多く増えているという傾向があります。重症化率が下がるにしても軽症者は極めて多いという状況になり、軽症者の方々は自宅療養ということになると、ウイルスを散布してしまうスプレッターになる可能性が極めて高くなる恐れがあります。このため、療養ホテルなどでの隔離、なおかつ軽度の治療ができるような施設や酸素ステーションについても県とともに検討しているところであります。

あらためて基本的なことではありますが、感染予防のためのマスクの着用、手洗い、三密を避ける、不要不急の外出はなるべく控えていただくなど、日常生活の中で充分意識し、社会として感染リスクに対して備えることが大切と考えております。皆で新型コロナウイルス感染症との戦いを続けてまいりましょう。

林業分野においては、新型コロナウイルスの影響で減少していた木材需要が、経済回復が進むアメリカや中国で需要が高まり、木材価格の高騰と供給不足が引き起こされています。国産材の需要が高まる中、県森林組合連合会をはじめ関係機関において供給体制の強化に取り組んでいただいております。また、本年四月からは「林業アカデミーふくしま」の本格開講が始まり、未来を見据えた担い手育成が進みます。

福島県の豊かな森林資源を継承していくためには『林業福島』をご覧いただいている関係者の皆さまのご理解とご協力をいただかなくてなりません。今後ともこれまで同様のご協力をいただきますようお願いいたします。

《もくじ》

とびら
共に歩む　福島ワンチーム
福島県市長会長　相馬市長　立　谷　秀　清…1
盛土による災害防止のための総点検について…2
林業研究センターだより……3～4
一貫作業システムによる再造林の推進……5
山火事防止に努めましょう……6
（一社）モクティ倶楽部の活動について…7
普及指導員通信……8
福島県林業労働力確保支援センターだより…9
木連だより……10
木の文化を育む㉟……11
木材市況・ふくしま東西南北……12
はなしのひろば・お知らせコーナー……13

盛土による災害防止のための総点検について

福島県森林保全課

○要旨

令和三年七月に発生した静岡県熱海市の土石流災害を踏まえ、近年形成された盛土について、関係課との密接な連携と協力のもと、災害の危険性等に関する総点検を実施しました。点検は、八月に国が示した盛土総点検の方針により、本県では、六七三箇所選定し、九月下旬に着手しました。点検着手後、住民からの情報や市町村の判断により十一箇所を追加し、最終的に六八四箇所について点検を行い、十一月下旬に完了しました。

○点検概要

関係する規制、法令による許可等を行った箇所や国より提供された地図情報から、土砂災害警戒区域、山地災害危険地区及び大規模盛土造成地内において形成された盛土を重点点検箇所として抽出し、目視により安全性を点検しました。

○点検内容

点検対象となる盛土のうち、関係法令に基づく許可・届出等の内容と現地の状況に関し、次の①～④について確認しました。

① 許可・届出等の手続きが必要な規模等である場合に、当該手続きが行われていることを確認（書面による確認）。

② 許可・届出等の内容と現地の状況が相違していないことを確認（面積・高さ・土量・のり面勾配等の盛土の規模と、崩壊・クラック・湧水の状況等の盛土の変状状況を目視で確認）。

③ 災害を防止するための必要な措置が取られていることを確認（擁壁・排水施設・のり面保護工・水抜きの有無等について目視により現地状況に即して技術的に判断）。

④ 禁止事項に関する確認（廃棄物の有無等について目視により確認）。

関係する主な規制、法令等

担当部署	関係法令等
生活環境部	自然公園法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等
農林水産部	農地法、農業振興地域の整備に関する法律、森林法
土　木　部	都市計画法、宅地造成等規制法、砂防関係法

○点検結果

今回の調査で災害のおそれのある箇所は確認されませんでした。

なお、今回の調査において、関係法令による許可手続き等の不備が五件判明したことから、行為者に対して、各法令に従った是正を求めるなど、必要な対応を講じることとしています。

点検対象箇所数　全六八四箇所の内訳

① 土砂災害警戒区域や山地災害危険地区等で開発許可、届出があった箇所（複数の法令にかかる重複を除く）　計　五六九箇所

② 国より提供された地図情報から盛土の可能性があると判断した箇所　計　一一三箇所

③ 住民等からの情報による箇所　計　二箇所

盛土の点検状況

○今後の動き

国は昨年十二月に、盛土の災害防止に関する有識者会議を開き、全国で実施された盛土の総点検結果を踏まえ、全国一律の安全基準や罰則の強化などを求めた提言をおおむね了承しました。国は提言を踏まえ、盛土規制の強化などを盛り込んだ関連法案を今国会（三月上旬）に提出する予定です。

県は全国知事会を通じ、国に対して、法制化による全国統一の基準・規制を早急に設けるよう求めているところであり、今後の国の動きを注視しながら、盛土に関する規制のあり方について、関係部局と連携して検討してまいります。

○盛土の点検結果について（福島県土木部プレスリリース）

https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/483204.pdf

林業研究センターだより

きのこ原木に資するためのコナラ汚染調査について

－これまでの研究成果と現在進めている研究内容について－

森林環境部
主任研究員　小　川　秀　樹

１　はじめに

県内の中通り及び浜通り地方に広がる阿武隈山系は広葉樹林、集落、農地がモザイク状に分布する独特の地形を有しています（写真１）。広葉樹林から生産されたシイタケ栽培用のコナラの原木は特に良質とされ、県外でも広く利用されてきました。広葉樹林等の林床では自伐した原木を利用したキノコの露地栽培が行われ、また、野生キノコや山菜採取も楽しまれてきました。広葉樹林に手が入れられることで、隣接する農地への鳥獣害を防ぐ効果もあったと考えられます。人々の暮らしは広葉樹の利用と深く関わってきたのです。

しかし、原発事故による放射能汚染により多くの地域できのこ原木の利用が困難となったことで、広葉樹林と人々の関係性は大きく変わってしまいました。

事故以降、当センターではコナラ汚染の調査等を進めてきました。本報告では、これまでの研究成果と現在進めている研究内容を、皆様にお知らせします。

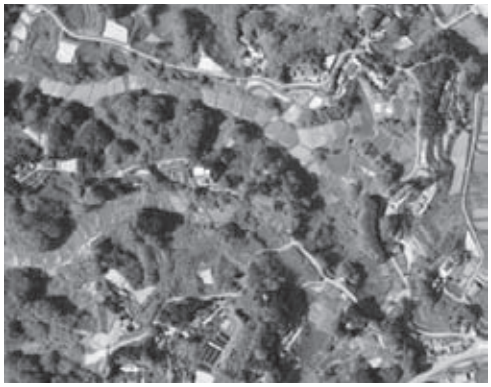


写真１　森林、農地、人家がモザイク状に配置する阿武隈山系の航空写真（国土地理院HP）

２　事故後十年間におけるコナラ汚染状況の変化

事故後のコナラ汚染調査は、「きのこ原木として利用されるコナラ幹のどこの部位（外樹皮、内樹皮、辺材、心材）に放射性セシウム（以下Cs）があるのか？」、を調べることを目的としてまず進められました。二〇一一年には幹に含まれる放射性Csの九割以上が外樹皮に分布していました。放射性物質の分布状況を見ると、外樹皮の表面だけに放射性Csが分布していたことがわかります（写真２）。これは大気中に拡散した放射性Csが外樹皮の表面に付着したためです。この結果を参考として、当センターでは大学や企業との共同により、コナラ原木の樹皮表面を水と研磨剤で薄く削る装置の開発を進めました。さらに、広葉樹林の萌芽更新も汚染された地上部を除去する効果を期待して、各地で進められています。

この十年間で、雨水による樹皮表面の洗い流しや樹皮の剥離等により、外樹皮の放射性Cs濃度は低下しました。二〇一六、二〇一七年に二地域（調査地A、調査地B）で行った調査では、外樹皮の放射性Csの割合はそれぞれ七割、二割、一方、材部（辺材＋心材）の放射性Csの割合は二割、五割でした。地域によって割合は異なりますが、外樹皮の割合が低下し、材部の割合が増加する傾向は同様です。（図１）材部の放射性Cs濃度はこの時点でも外樹皮に比べて低いですが、原木全体重量に占める材部の割合が大きいため、材部の放射性Cs量の割合が高くなっています。萌芽更新後に生育したコナラは外部汚染を受けていないので、材部に含まれる放射性Csの割合はより高くなります。

原木に含まれる放射性Csのほとんどが材部にあるとすれば、今後は材部の放射性Cs濃度の変化に応じて、原木の濃度も変化することとなります。国が行っている県内二地点の調

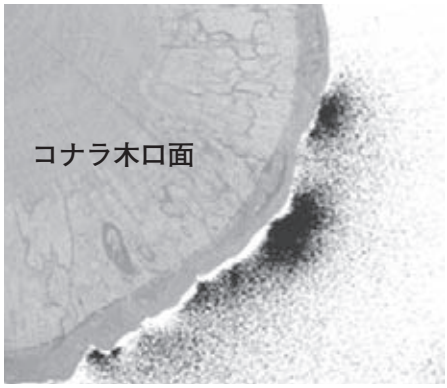


写真２　可視化した外樹皮表面の放射性物質の状況（2011年に林業研究センター内で伐採したコナラ）

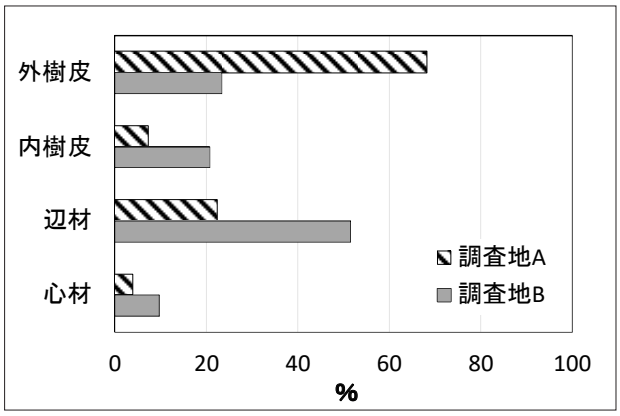


図１　コナラ幹の^{137}Cs分布割合

査によると、コナラの材濃度が年々上昇する傾向が示されています。この結果に関して、森林総合研究所では、コナラの根による放射性Cs吸収量が落葉による排出量を上回るためと考察しています。ただし、調査地点も限られていることから、より多くの地点での調査が今後、必要とされるでしょう。

３　現在のコナラ汚染に関する試験内容

これまでのコナラの汚染状況の変化や将来の利用を見据え、現在は主に根からの放射性Cs吸収に関して研究を進めています。その一つは根から吸収される放射性Csの由来を探る調査です。森林内の土壌は深度によって土質も汚染度も大きく異なります。また、土壌表層には落葉が堆積しますが、これも土壌表層に近い下方ほど分解が進んでいます。林床に到達した雨水には、葉から容脱した放射性Csがごく低濃度ですが含まれています。これら放射性Cs蓄積源から吸収の由来を探るため、今年度から自然に存在する安定同位体Csを利用した試験に着手しました。この結果も、近くご報告できると思います。

根の放射性Csの由来を探る調査は、吸収抑制対策の検討につながります。もし土壌由来だとすれば、農業等で実績のあるカリウム施肥の効果が見込まれます。これに関しては、すでに苗木ポット試験によりカリウム施肥に放射性Cs吸収抑制効果があることが分かっています（参考文献１）。吸収される土壌深度が分かれば、その深度のカリウム濃度を上げることで、抑制効果をより高めることができるでしょう。あるいは落葉層の放射性Csが主な供給源だとすれば、落葉を除去することでコナラへの放射性Cs吸収を低下させることができるかもしれません。

写真３　線量計等を積載したドローン（大和田測量設計㈱、日本大学工学部との共同研究）

実際に対策にかかる費用の算出も今後の研究テーマとなります。カリウム施肥や落葉除去に効果があったとしても、これは事故前には不要だった作業であり、追加的な費用が必要です。そのため、すべての地域でこの対策を実施することには限界があります。その状況も見据えて、今年度から、きのこ原木としての利用を最優先としつつも、その他の利用（きのこ菌床、家畜敷料、チップ、家具、レクリエーション等の空間利用）も視野に入れた広葉樹林の多目的用途を進める研究も開始しました。その一つが、森林内の詳細な空間線量率の把握です。現在、空間線量計を搭載したドローンで森林直上を飛行し、森林内の詳細な空間線量率のマップを作成するシステムの開発を大学や企業と進めています（写真３）。詳細な汚染マップを参考とすることで、森林の汚染度に応じた多様な利用を進めることができると考えています。

４　終わりに

この十年間で、コナラ汚染の状況は樹皮表面への放射性Cs付着による外部汚染から、根からの放射性Cs吸収による内部汚染に推移してきました。全国的な原木きのこ生産の状況も変わりつつあり、また、原木生産を担ってきた方々も高齢化しています。そのような状況も見据えながら、できる限り早く現場で実施できる対策を提案できるよう、研究を進めたいと考えています。

参考文献

１　放射線関連支援技術情報（令和２年度）「土壌中放射性カリウム濃度20～30（mgK$_2$0g）以上ではコナラ苗木への^{137}Cs吸収は抑制される」（令和２年度）
福島県農業振興課HP

一貫作業システムによる再造林の推進

福島県森林整備課

■本格的な収穫期を迎えている人工林

県内の民有人工林（205千ha）のうち、50年生を超える森林（116千ha）が半数以上を占めており、主伐による積極的な木材生産が可能となっています。

■再造林されずに更新が滞った森林

主伐が行われる一方で、主伐面積に対する再造林面積の割合は、全国的に３～４割程度に留まっており、県内でも再造林されずに更新が滞った森林が発生しています。

再造林が行われない要因のひとつに造林費用の負担に対する懸念があることから、再造林コストの低減を図る必要があります。

■一貫作業システムとは

再造林コストの低減を図るため、伐採者と造林者が連携し、伐採から造林までの作業を連続的かつ一体的に実施する取組を「一貫作業システム」と呼ばれています。

伐採搬出工程で使用した機械（グラップル、フォワーダ）を造林工程にも活用することで、労働負荷の軽減とコストの低減を図ることができます。

従来型　伐採　集材　搬出　→　地拵え（人力）　→　植付（裸苗）

一貫作業システム　伐採　集材　搬出　→　地拵え（機械）　植付（コンテナ苗）

【ポイント】

○伐採に使用した**機械**で**地拵え**

○丸太運搬の帰り荷で**苗木運搬**

○植栽適期の広い**コンテナ苗**

グラップルによる機械地拵え

コンテナ苗の植栽を終えた造林地

根系が充実したコンテナ苗

■一貫作業システムによる再造林の支援制度

県では、森林環境税を活用し、一貫作業システムによる効率的な作業を支援していますので、詳しくは、最寄りの県農林事務所に御相談ください。

なお、森林環境税を活用した森林整備の取組については、県森林整備課ホームページをご覧ください。

（https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055b/shinrinseibi22.html）

事業名	事業主体	補助対象区域	補助金額
森林機能維持事業 （一貫作業システム）	意欲と能力のある林業経営者	○飲料水の水源区域 ○水源かん養機能または山地災害防止機能が特に高い森林	3,000千円／ ha以内

今月号、普及指導員通信（P. 8）に会津農林事務所の例が掲載されています。併せて参考にしてください。

「山火事を発生させないために」

福島県森林保全課

○山火事の発生時期

冬から春先にかけては、雨が少なく空気が乾燥していることに加え季節風も強いことから、火災発生の危険が高まる時期となります。暖かくなる春は登山やハイキングなどで山に入る機会が増えるほか、農作業を始める時期とも重なり、例年、田畑や自宅の周辺などでの火の使用が原因の山火事が多発しています。また、炎が燃え広がりやすい時期であるため、初期対応が遅れると大規模な山火事に発展する恐れがあります。

○山火事の発生原因

全国で令和二年に発生した山火事（林野火災）は一、二三九件であり、その原因で最も多いのは「たき火」四一〇件、次に「火入れ」二一五件となっております。※1

当県においても令和二年は、二八件の山火事が発生しております。※2

このことは、山火事の発生原因の多くが人為的な不注意によるものであることを意味しており、一人ひとり注意をすることで多くの山火事を防ぐことができます。

○山火事を発生させた場合の責任

森林法では、森林に放火をした者に対してだけでなく、失火により森林を延焼させた者に対しても罰則規定があります。

山火事を発生させてしまうことは大変重大なことであることから、火の取り扱いに注意することを心がけましょう。

○山火事を発見したら

山火事の消火活動は、市街地の火災に比べ、道路、水利、地形などの条件から非常に困難であり、自力での消火は大変危険です。

山火事が発生した場合や、山火事を発見した場合は、すぐに消防署へ通報するようお願いします。

○山火事を発生させないために

山火事を発生させないためにも、私たち一人ひとりが次のことに注意をして、山火事予防に取り組みましょう。

① 枯れ草等がある場所では、火災が起こりやすいため、たき火をしないこと。

② 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと。

③ やむを得ず火を使用する場合は、火気のそばを離れず、使用後は完全に消火すること。

④ 火入れを行う際、市町村長の許可を必ず受けるとともに、十分な実施体制をとること。

⑤ たばこは、指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消すとともに、投げ捨てをしないこと。

⑥ 火遊びはしないこと。

○おわりに

どんなに小さな火でも燃え広がれば大きな森林も破壊してしまいます。私たちの暮らしに欠かせない水源かん養や県土の保全など森林の持つ大切な役割を失ってしまうことになり、燃えてしまった森林がもとの姿に回復するまでには、何十年もの月日と多大な費用を要します。

ふくしまの豊かな森林から山火事を発生させないよう県民の皆さん一人ひとりの御協力をお願いします。

※1　総務省消防庁公表資料（令和三年十月二九日付け）より

※2　農林水産部　森林保全課の集計より

森林保険イメージキャラクター
マモルくん

森林保険

山火事などの災害に備え、森林保険に加入しましょう。
くわしくは、最寄りの森林組合、または森林組合連合会へ御相談下さい。

一般社団法人モクティ倶楽部の活動について

一般社団法人モクティ倶楽部　理事　鈴木比良

○はじめに

県内（国内）の人工林の多くは伐期を迎えており、伐採して、利用して、植栽して、保育する段階に来ています。高齢級の森林は炭素の蓄積をしていますが、二酸化炭素の吸収力は弱っています。

そこで、最も多くの二酸化炭素を吸収する人工林（十五年～三五年）の面積を、ある程度の割合で確保することが重要であり、国も間伐や植栽への補助金を確保して支援しているところです。しかしながら、伐採後に植栽が行われず放置されている森林もあることから、伐採・植栽のサイクルが確実に進むよう新たな仕組みの構築を考えました。

○モクティ倶楽部の設立

構成メンバーの多くは、木材を利用する側であることから、資源の持続的利用を進める上でも木材が生産される山への還元が必要と考えていました。

そこで、※（エシカル商品）の利用推進や認証森林の拡大、活用森林への植栽・保育活動を通じて森林の循環利用を進め「ＳＤＧｓ」への貢献を目的とした「一般社団法人モクティ倶楽部」を令和三年九月に設立しました。

別図のとおり、森林所有者や伐採業者、製材業者、加工業者、販売業者などからの寄付を財源に毎年一ヘクタールの植栽や萌芽更新を含む方法により早期の森林の機能回復を目指します。

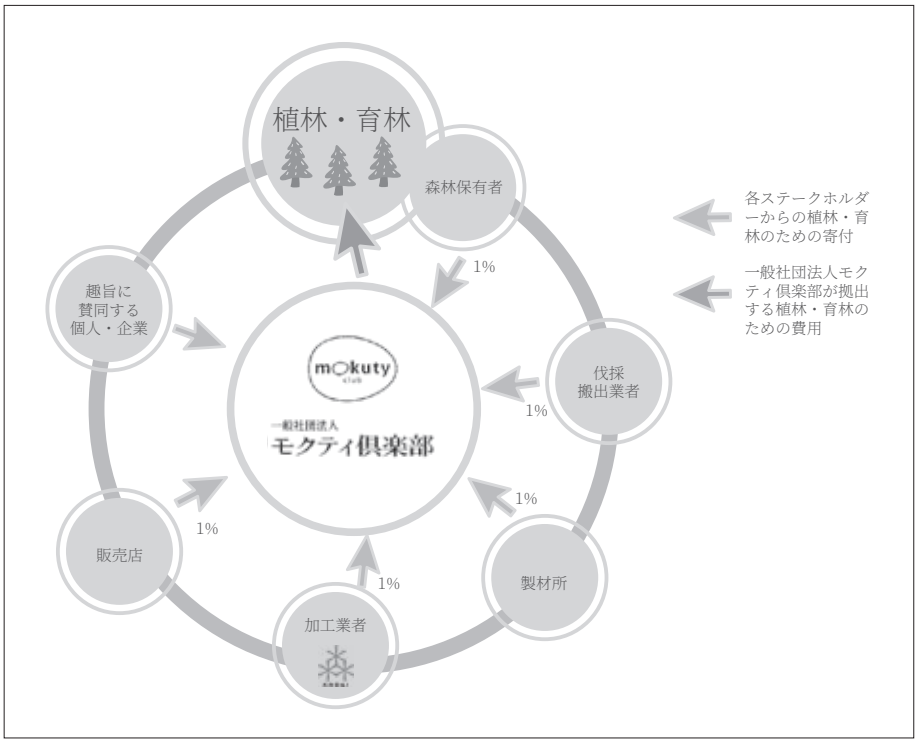
活動のスタートは、南会津町から生産されたミズナラ材やスギ材をエシカル商品として活用し、伐採した人工林跡地にはカラマツ等苗木の植栽、広葉樹林跡地には萌芽更新や広葉樹の一部植栽を令和四年六月五日（日）に植樹イベントとして実施します。その後五年程度の雪起こしや刈り払いなどの保育活動を実施しながら元気な森林へと誘導していく計画をしています。

○まとめ

私たちが毎日の生活の中で、住居や衣服、冷暖房、食事、車、道路、公園などあらゆる面で色々な素材やエネルギーを使っており、これからも必要不可欠なものと考えています。

このことから、環境にローインパクトな素材やエネルギーを持続的・効率的に使っていくことが大切であり、特に循環利用できる資源である森林（木材）を、森林の持つ機能を保持させながら利用していく強い思いや、林業関係者だけでなく消費者まで広げた森林再生への支援体制が必要であり、その活動の窓口に「一般社団法人モクティ倶楽部」の存在があると考えています。皆様のモクティ倶楽部への参加・協力をお願いします。

※エシカル商品：倫理的な商品とも言い、地球環境や人、社会に対して配慮されたものを購入・消費することに繋がる。



普及指導員通信

一貫作業システムによる再造林の推進について

会津農林事務所
林業普及指導員　武　藤　　司

１　目的と背景

会津管内の現況

会津農林事務所管内における人工林面積は、34,729haであり、そのうち標準伐期齢を超え、主伐期を迎えた10齢級以上の森林が22,317haと全体の約65％を占めています。（平成28年調整　会津地域森林計画森林資源構成表より）

それに対し、管内における再造林の実績は、平成27年以降の５年間、毎年１～２ha前後にとどまっており、森林機能維持の観点から、伐期を迎えた人工林活用の推進と　　再造林による森林の更新が課題となっています。

会津管内　再造林面積の推移（ha）							
年　度	H27	H28	H29	H30	R元	５箇年計	R２
面　積	1.11	1.63	1.61	2.36	0.93	7.64	7.80

そこで、コンテナ苗を活用した伐採と造林の一貫作業の標準化などコストの縮減に加え、省力・効率化の取組を進めたので報告します。

なお、一貫作業システムの推進にあたっては、令和元年度から森林環境基金森林整備事業の新規事業として追加された、一貫作業システムによる再造林の補助を活用しながら、取組を進めました。

２　一貫作業システム普及啓発の取組

⑴　各事業体に対する普及指導

一貫作業システムの実施にあたり、初年度である令和元年度は管内の事業体等において一貫作業システムの仕組みや事業の進め方がよく理解されず、実績なしとなりました。

そのため、普及員が各事業体の疑問点等をＱ＆Ａ形式でお知らせするとともに個別に事業体を訪問し、制度の普及啓発に努めたところ、令和２年度は２事業体で３地区4.74haの実績を上げることができました。

また、一貫作業システムを推進することで、令和２年度の再造林実績は7.80haと過去５年間の実績を上回る結果となりました。

令和３年度の実績は２地区3.69haとなる見込みですが、令和４年度には７地区8.45haの要望があり、会津地区における一貫作業システムの取組は急速に高まりつつある状況です。

令和２年度施行地（会津美里町）

⑵　一貫作業システムの実施に係る現地研修

一貫作業の作業体系を理解してもらうため、令和３年11月29日に猪苗代町の一貫作業システム実施を予定している現地において、作業体験を行いました。

研修では、管内事業体、そして、南会津の事業体の現地視察を受け入れながら、コンテナ苗と専用の植栽器具（ディブル）の取扱いや植栽方法などの体験を行いました。

ディブルによる植栽状況（平坦地では特に効率が良い）

３　今後の取組

当管内において、一貫作業システムに意欲のある林業事業体は伐採と再造林を進め森林の機能向上を図ろうとしていますが、その他の一部事業体では、再造林のコストや、作業員の確保、植栽後の下刈り等を考え、事業に取り組むことに消極的になっています。

このため、今後はコンテナ苗の活用によるコスト縮減と林業機械の複数工程での活用による省力化のメリット等をPRしながら、森林環境基金森林整備事業を活用した一貫作業システムを推進するための普及活動を行い、さらなる再造林の推進につなげていきたいと考えています。

福島県林業労働力確保支援センターだより

改善措置実施状況報告書にみる就業者の動向

◎はじめに

当センターでは、「雇用管理の改善と事業の合理化についての計画」（改善計画・五年間）を作成して知事の認定を受けた事業体（認定事業体）の事業活動を支援するとともに、当該事業体から毎年度提出される改善措置実施状況報告書を取りまとめています。

林業における就業状況は年々厳しさを増していますが、今回は作業員数と新規採用者数の動きについて、平成二九年度と今年度の報告内容の対比でご紹介します。

◎現場作業員の管内別ならびに常用と臨時・その他別の人数

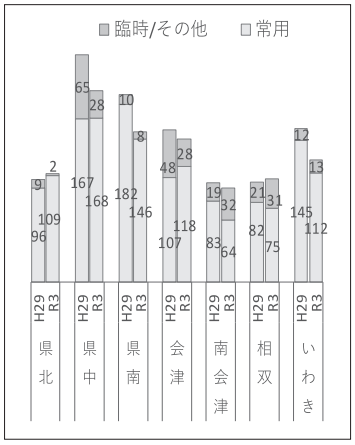
作業員数が比較的多い管内は、県中一九六人、県南一五四人、会津一四六人、いわき一二五人となっており、これは事業体数の差によるものと思われます。

一方、作業員数の減少傾向が大きいのも、県中八四パーセント、県南八〇パーセント、いわき八〇パーセントとなっており、就業状況を早急に改善する必要が生じています。

また、今年度の全体数では、常用が七九二人、臨時その他が一四二人、計九三四人であり、二九年度比で一二人減少し、八九パーセントとなっています。なお、常用については九二パーセントと若干減少率が抑えられています。

管内区分	事業体数		常用		臨時／その他		計	
	H29	R３	H29	R３	H29	R３	H29	R３
県　北	4	6	96	(114%) 109	9	(22%) 2	105	(106%) 111
県　中	12	10	167	(101%) 168	65	(43%) 28	232	(84%) 196
県　南	18	16	182	(80%) 146	10	(80%) 8	192	(80%) 154
会　津	10	11	107	(110%) 118	48	(58%) 28	155	(94%) 146
南会津	9	8	83	(77%) 64	19	(168%) 32	102	(94%) 96
相　双	12	15	82	(91%) 75	21	(148%) 31	103	(103%) 106
いわき	14	12	145	(77%) 112	12	(108%) 13	157	(80%) 125
計	79	78	862	(92%) 792	184	(77%) 142	1,046	(89%) 934

※注：（　）増減率

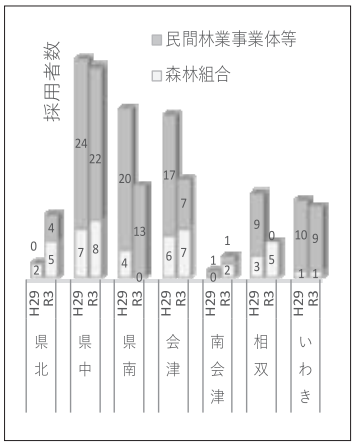


◎管内別ならびに森林組合と民間事業体別の新規採用者数

新規採用数の今年度の合計は八四人であり、平成二九年度と比べて二〇人減少し、八一パーセントとなっています。

管内区分	事業体数		新規採用者数		左の内訳			
					森林組合		民間林業事業体等	
	H29	R３	H29	R３	H29	R３	H29	R３
県　北	4	6	2	9	(100%) 2	(56%) 5	(0%) 0	(44%) 4
県　中	12	10	31	30	(23%) 7	(27%) 8	(77%) 24	(73%) 22
県　南	18	16	24	13	(17%) 4	(0%) 0	(83%) 20	(100%) 13
会　津	10	11	23	14	(26%) 6	(50%) 7	(74%) 17	(50%) 7
南会津	9	8	1	3	(0%) 0	(67%) 2	(100%) 1	(33%) 1
相　双	12	15	12	5	(25%) 3	(100%) 5	(75%) 9	(0%) 0
いわき	14	12	11	10	(9%) 1	(10%) 1	(91%) 10	(90%) 9
計	79	78	104	84	(22%) 23	(33%) 28	(78%) 81	(67%) 56

※注：（　）組織別占有率



この中では、県中、県南、会津の採用者数が比較的多く、かつ民間事業体の占有率が高くなっています。

一方、県南、会津では減少傾向も大きくなっているところです。

また、組織別に二九年度と比較すると、森林組合の占有率は二二パーセントから三三パーセントと一一パーセント増加しているのに対し、民間事業体は七八パーセントから六七パーセントと減少しており、新規採用者の確保・育成も重要な課題となっています。

◎終わりに

当センターでは、新規就業希望者に対して、「森林の仕事ガイダンス」（全国森林組合連合会主催・開催地は東京都内）を始め、オンライン就業相談、県林業祭併催の「森林の仕事ミニガイダンス」、電話・メール・訪問による相談、磐城林業協同組合からの委託募集、林業就業支援講習（令和二～四年度は他機関で実施）等の幅広い業務をとおして、日々就業支援に取り組んでいるところです。

本年四月からは、林業アカデミーふくしまの就業前長期研修も開講されますので、人材育成に対する皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

木連だより

内装木質化がもたらす効果 その３

（令和２年度 内装木質が小児患者等に及ぼす影響効果調査より）

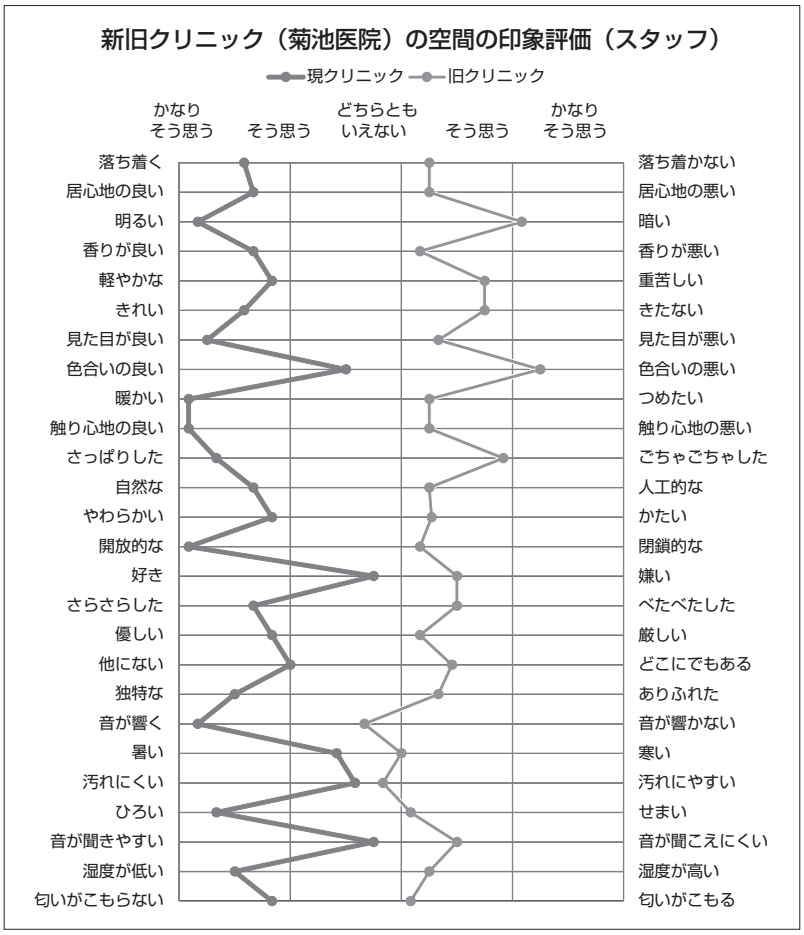
福島県木材協同組合連合会

令和二年六月ＲＣ造から木造（縦ログ構法　木材使用量　二七六・一九立方メートル）に改築したクリニックを対象（対象施設の概要 参照）に内装木質が医療スタッフ・来院者にもたらす効果の実証を行いました。来院者の施設に対する評価等についてのアンケート調査結果は、六八〇号・六八六号で報告いたしました。

今回は、以前のＲＣ造の病院と現在の木造の病院の二つの空間を比較対象として、利用者である病院スタッフの方々に対し行った空間の印象評価アンケートの結果を報告いたします。結果は下図のとおりで、全体的に、木質化された現在の病院が旧病院と比較し、評価が高いことが分かります。特に、「開放的な―閉鎖的な」「触り心地の良い―悪い」「香りの良い―悪い」「暖かい―つめたい」などの形容詞対において、肯定的な結果が見られました。

■旧病院概要	■新病院概要
・延床面積：約520.07㎡ ・機　　能：診療所＋病児保育 ・竣 工 年：1986年	・延床面積：654.81㎡ ・機　　能：診療所＋病児保育 ・竣 工 年：2020年

対象施設の概要



木質内装の様子　待合室

同　受付

木の文化を育む㉟

「木はり絵」で日本の林業を活性化（合同会社 きのわ）

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授　阿　部　恵利子

○はじめに

日本の暮らしを支えてきた木工は生活道具・建築・芸術など、私たちの暮らしと共にさまざまな歴史と文化を築いてきました。

木と共に暮らしてきた私たちが「木の文化」を育んでいくことは、日本の林業を活性化し、サスティナブルな社会を構築する一助となっています。

○木はり絵工房　きのわ

合同会社きのわ（会津若松市）は、代表　成田能人さんが国産材の需要を喚起するため、二〇一五年に起業した木はり絵工房です。成田さんは、国産材の利用を推進していくことで日本の林業を活性化し健全な森に戻していきたいという想いで、日本国産の天然木を使用した木はり絵アートを独自に開発。老若男女が気軽に楽しめるよう〝木はり絵アートキット〟を製作し販売しています。

○木はり絵アートキット

木はり絵アートキットの材料は、住宅の内装等に使用する厚さ約〇・三㍉の突板です。主にアサダ・クルミ・キハダ・ブナ・スギ・ヒノキ・サクラ・ケヤキ・トチなど国産材の針葉樹・広葉樹合わせて九種類の中から主に四から六種類程度の突板を組み合わせ、木はり絵に使用します。切り取り線に沿ってカッターやハサミで突板を切り取り、貼り付けガイドの順番に台紙の上に貼り重ねていくと、立体的な木はり絵アートが完成します。難易度は三段階用意されており、制作時間は二時間から十時間かかるものもあります。さまざまな樹種の香りや風合いを楽しみながら制作することができます。

○新しいプロダクトデザイン

「日本の里山は樹種が豊富で多様性に富んでいます。人々に日本国産の樹種の違いや特徴を伝えていくと共に、さまざまな樹種を活かし組み合わせた新しいプロダクトデザインを考案していくことで、日本国産の木の面白さを知ってもらいたい」と成田さん。

今後は日本の木の素晴らしさを世界中の人々に伝えていくために、海外への販路をさらに拡大し、売り上げの一部を森林保全のために寄付できるような取組みを考えています。

○まとめ

実際に木に触れることをきっかけに、日本国産の木の魅力を再発見すること、そして日本の林業が活性化することを願い、貴方も木はり絵をとおして「木の文化」を育んでいきませんか。

〈木はり絵　アート・　雑貨〉

アートキット（サグラダファミリア）

９種類の突板シート

ゲーム（脱出ゲーム）

グリーティングカード

ストラップ

木材市況

十月の原木市場への入荷量は、前月比一八パーセント増（前年比三一パーセント増）の二五、一八〇立方メートルとなっている。

販売量は、前月比二九パーセント増（前年比三五パーセント増）の二五、三三〇立方メートルとなっている。

十一月の価格は強気配となっている。

素材の価格〈工場着価格〉（2021年11月15日現在）

（単位：㎥当り千円）

区分		形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	中通り地方 当月	中通り地方 前月差	会津地方 当月	会津地方 前月差	浜通り地方 当月	浜通り地方 前月差	県平均 当月	県平均 前月差
一般用材	小	5～9	4.00	並	スギ	10（9～10）	0	（0～0）		10（10～10）	0	10（9～10）	0
		10～14		並	スギ	16（16～17）	0	（0～0）		15（14～16）	0	16（14～17）	1
	中	14～22	3.00	並	スギ	17（14～19）	0	12（12～12）	△1	20（16～23）	0	17（12～23）	0
				並	ヒノキ	24（18～30）	3	（0～0）		26（26～26）	1	25（18～30）	2
			6.00	並	スギ	20（16～22）	0	10（10～10）	0	22（21～23）	0	19（10～23）	0
				並	ヒノキ	29（29～30）	0	（0～0）		31（30～32）	1	30（29～32）	1
		20～28	3.65	並	スギ	16（16～16）	1	11（11～12）	0	15（14～16）	0	14（11～16）	0
			4.00	並	スギ	15（14～15）	1	11（11～12）	0	16（15～17）	1	14（11～17）	0
				並	アカマツ	12（11～14）	1	（0～0）		11（9～13）	0	12（9～14）	1
			1.80	並	アカマツ	9（7～10）	1	（0～0）		9（9～10）	0	9（7～10）	1
外材	米材（定尺）	30以上	10.00	並	米ツガ	（0～0）		（0～0）		38（38～38）	2	38（38～38）	2
				並	米マツ	（0～0）		（0～0）		37（37～37）	1	37（37～37）	1
	北洋材（定尺）	28以下	3.80	並	エゾマツ	（0～0）		（0～0）		34（34～34）	0	34（34～34）	0
			4.00	並	アカマツ	（0～0）		（0～0）		34（34～34）	0	34（34～34）	0
				並	カラマツ	（0～0）		（0～0）		34（34～34）	0	34（34～34）	0
パルプ用材				並	マツ	7（7～7）	0	（0～0）		（0～0）		7（7～7）	0
				並	広葉樹	10（10～10）	0	（0～0）		（0～0）		10（10～10）	0

区分	形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	会津共販 当月	会津共販 前月差	いわき 当月	いわき 前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	0（0～0）	0	7（6～8）	0
	13～14		並	カラマツ	0（0～0）	△13	8（7～8）	0
	16以上		並	カラマツ	15（15～15）	1	10（8～11）	0

注）1．前月差の△印は値下りを示す。
2．（ ）内は各地域の価格幅、（ ）外は各地域の平均的価格を示す。
3．一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
4．各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

ふくしま東西南北

松川浦豆知識

福島県相双農林事務所　渋谷純一

松川浦は、相馬市の北東の沿岸部に位置する潟湖（英語ではラグーン：lagoon）です。

松川浦南部の磯部地区から延びる砂嘴（さし）が発達（現在の大洲と呼ばれるところ）して潟湖になったとされており、古くは周辺の松林や大小の島が点在する風景から「小松島」と呼ばれるなど、相馬藩の遊休地として利用され、近年では、豊富な海産物の直売や潮干狩りなどにより県内でも指折りの観光地として親しまれてきました。

松川浦は海苔や魚介など海産物が豊富ですが「海」ではなく、河川法の適用を受ける「河川」に位置付けられており、潮口と呼ばれる河口があります。

現在の位置（松川浦大橋の下）に潮口が作られたのは明治四一年から四三年頃のことで、それ以前は鵜ノ尾岬の南側に潮口があり、時化等により度々閉塞して問題になっていたことから、解決策として整備されたとされています。

また過去には、周辺に新沼浦（新地町・相馬市）、山信田浦（相馬市）の二つの浦も存在していましたが、大正から昭和にかけて干拓され、前者は新地発電所及び相馬中核工業団地へ、後者は水田地帯へと変貌を遂げており、残っていたらどんな風景だったのかと思いを馳せます。

松川浦周辺も、東日本大震災により生じた津波被害などによりそれまでの風景から様変わりしました。

震災後十年が経過し、周辺の再興により嘗ての賑わいを取り戻そうと奮闘している松川浦へ、是非お越しください。

（明治41年）

（現在）

※出展：国土地理院 HP

はなしのひろば

二月二二日「猫の日」

令和二年八月三日、猫のちょこ（当時十九歳）が亡くなった。ちょこは、野良猫で、生後二～三ケ月の頃、うすら寒い冬の夜、家の庭で消え入りそうなか細い声で鳴いていた。玄関を開けると一目散に廊下を走ってきて「野良です。失礼します」と、気がつけば、こたつで暖をとっていた。

それから、ちょこは、亡くなる直前まで、仕事帰りの私を玄関で待っていて、私も「ただいま」と言葉を交わすのが日課だった。が、八月四日からは、玄関を開けてもその姿もちょこの真っ直ぐな目もなく、そこに漂っているはずの空気が流れていないことを最近まで感じていた。（存在がなくなるとは、こういうことなのか…）。最期おぼつかない足で向かった先も玄関だった。ここを自らの最期の場所に選んだとしか思えない。今、思えば、ちょこにとっての玄関は、家猫としての原風景だったのではないか。

八月五日、まだまだ暑い夕刻、かつて迷い込んで来た家の庭に、ちょこを埋めた。その埋めた直後、雨がサアッーと走っていった。ちょこの最期の「ありがとう、さよなら」を感じさせる不思議な一瞬だった。

今、我が家には、ちょこがきちんと躾をしていった二〇歳になる「ことら」と、あの東日本大震災後に拾ってきた「かんな」が暮らしを共にしている。

あの時、ちょこを一番愛していた娘が「ちょこがいなかったら、わからなかったことがたくさんあったよ…。ありがと」と、冷たくなっていく「ちょこ」をしばらく撫でていた…。

たかが猫、されど猫、である。

（都）

表紙の写真

「いつか灰になる運命」
第18回ふくしま森林・林業写真コンクール優秀賞（県森林・林業・緑化協会長賞）
受賞者　佐山勝信さん（会津若松市）
撮影場所：南会津町

編集　福島県
発行　福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究・整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
発行人　飯沼　隆
（福島市中町五番一八号県林業会館内）
陽光社印刷株式会社
（定価　一一〇円）

お知らせコーナー

第36回ふくしま緑の写真コンクール表彰式開催

緑の素晴らしさ、大切さを広めていくため1985年に指定しました「ふくしま緑の百景」を中心に豊かな緑を題材とする「第36回ふくしま緑の写真コンクール」の表彰式が昨年12月４日㈯に福島民報社において行われました。

今回も、県内各地より幅広い年齢層の皆様から前回に次ぐ666点に及ぶ多数のご応募をいただきました。どの作品も、奥山から里山の森林や動植物、家族での身近な公園散策など、緑へ寄せる熱い想い、ふるさとへの深い慈しみを感じ入ることのできる力作です。

特選及び金賞、銀賞の受賞者は次のとおりです。

その他の受賞者、作品を含め詳しくは、福島県森林・林業・緑化協会のホームページに掲載しております。是非ご覧ください。

賞	氏　名	住　所	テーマ
特選	亀岡　芳雄	会津若松市	再生の森
金賞	鈴木　彦三	福島市	北限の柚・試練に耐える
	鈴木　和子	福島市	春陽に愛でられて
	涌井　礼子	福島市	ソバの花咲く丘
	小柳　光市	郡山市	紫陽花の詩
	泉田　実	三春町	早朝の光に
銀賞	栗原　陽子	福島市	パワースポット
	森藤　哲良	伊達市	幸せの森
	門林泰志郎	いわき市	みどりの力
	大島　市郎	会津若松市	静寂
	堀越　靖	郡山市	森に輝く
	武田　幸吉	国見町	山里の木木

特選「再生の森」

金賞「北限の柚・試練に耐える」

金賞「春陽に愛でられて」

金賞「ソバの花咲く丘」

金賞「紫陽花の詩」

金賞「早朝の光に」

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。

1 火災
山火事で受けた損害

2 風害
暴風による根返り、幹折れなどの損害

3 水害
豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害

4 雪害
大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害

5 干害
乾燥による枯死などの損害

6 凍害
凍結、寒風などによる枯死などの損害

7 潮害
潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害

8 噴火災
火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》
竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》
◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255㈹
または最寄りの森林組合

For the future with forest
イワフジ工業株式会社
http://www.iwafuji.co.jp/

（南東北支店） 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168
（本社・工場） 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西 5-1
（支　　店） 札幌・東北・南東北・関東・中部・関西・中四国・九州

林業福島 二月号 通巻第六九〇号
令和四年二月一日発行
（毎月一回一日発行）
監修 福島県農林水産部
編集発行人 飯沼 隆宏
発行所 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
福島市中町五番十八号 県林業会館内
定価 一一〇円（税込）
年間購読料 一、九八〇円（税・送料込）

レインボー薬品の薬剤と資材

緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

松くい虫予防薬剤

ヤシマスミパイン乳剤
スミパインMC
マツグリーン液剤2
グリンガード・NEO

くん蒸剤

ヤシマNCS

くん蒸用生分解性シート

くん蒸与作シートハイバリア

ハチ退治

ハチノックL（巣処理用スプレー）
ハチノックS（携帯用スプレー）

新商品　猪レスSTOPテープ　ヒルノックWスプレー　ヒルノックW

レインボー薬品株式会社
東京都台東区上野1-19-10　お問い合わせ TEL. 03(6740)7777　平日 9:00～17:00（土・日・祝日は休み）

ZENOAH®

人と共に　緑と共に

For Professional

BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

For Professional

GZ3950EZ
排気量 39.1cc
／
GZ4350EZ
排気量 43.1cc

ZHM1550RR

刈幅：1500mm　出力：27.5kW

SR3100

破砕径：200mm　出力：18.4kW

ハスクバーナ・ゼノア㈱ 福島県代理店
(有) うねめ林業機械
TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1